

平成22年度 第1回 藤島地域審議会次第

日時 平成22年7月1日(木)

午前9時30分～

場所 藤島庁舎3階大会議室

[辞令交付]

1 開 会

2 あいさつ

3 委員紹介

4 会長・副会長の選出 (資料1)

5 報 告

(1) 藤島地域の状況報告について(資料2、3)

(2) 平成22年度予算及び主な事業の概要について

(資料4、5及び予算特集号)

(3) 地域課題調査等の取り組みについて(資料6)

6 協 議

(1) 藤島地域審議会協議テーマについて

(2) その他

7 そ の 他

8 閉 会

藤島地域審議会委員名簿

区分	所属団体名等	役職名等	氏名	備考
公 共 的 団 体 等	藤島町内会長連絡協議会	会長	成澤正一	
	庄内たがわ農業協同組合	代表理事専務	齋藤泰宏	
	庄内たがわ農業協同組合 藤島支所生産組合長会	会長	伊藤繁喜	
	出羽商工会	会長	小野木 覺	
	藤島地区民生児童委員協議会	会長	阿部正良	
	藤島中学校PTA	会長	奥山和樹	
	藤島体育協会	会長	丸山 鎮	
	藤島芸術文化振興会	会長	小林 功	
	藤島老人クラブ連合会	会長	高橋徳雄	
	藤島地域婦人会	会長	今野多美子	
	出羽商工会女性部藤島支部	支部長	板垣てつ子	
	庄内たがわ農業協同組合 藤島支所女性部	部長	上林節子	
	出羽商工会青年部	部長	工藤規行	
	鶴岡市消防団藤島方面隊	隊長	成澤 修	
	因幡堰土地改良区	理事長	富樫達喜	
学 識 経 験 者	公募委員	会社役員	堀口大介	
	公募委員	農業	佐藤一晴	
	公募委員	会社員	丸山 厚	
	公募委員	会社役員	奥山康光	
	公募委員	会社役員	相馬 大	

任期:平成22年6月10日～平成24年6月9日

地域審議会について

地域審議会は、旧市町村合併特例法第 5 条の 4 の規定に基づき、新鶴岡市が処理する旧市町村の区域に係る事務に関し市長の諮問に応じて審議などを行うために、旧市町村ごとに設置するものであります。

なお、同条では、地域審議会を組織する構成員の定数、任期などについては、合併関係市町村の協議により定めることとされており、新鶴岡市については、次のように協議して定められたところです。

1 所掌事務

- (1) 地域審議会は、合併に係る次の事項について、市長の諮問に応じて審議・答申する。
 - ・ 新市建設計画の変更に関する事項
 - ・ 新市建設計画の執行状況に関する事項
 - ・ その他市長が必要と認める事項
- (2) 必要と認める事項について、市長に意見を述べることができる。

2 組織

- (1) 平成 27 年 3 月 31 日までの期間、旧市町村の区域を単位として設置いたします。
- (2) 地域審議会は、その区域に住所を有する 20 人以内の委員で組織され、委員は、
 - (ア) 公共的団体等を代表する者
 - (イ) 学識経験者

の区分のうちから市長が任命し、委員の任期は 2 年間となっております。

公共的団体等を代表する者については、

- | | | |
|----------------|--------------|--------------|
| (1) 自治組織 | (2) 農林漁業団体 | (3) 商工観光団体 |
| (4) 福祉、医療団体 | (5) 学校教育関係団体 | (6) 社会教育関係団体 |
| (7) 老人、婦人、青年団体 | (8) 防災組織 | (9) NPO 法人等 |

など、各地域における地域社会活動、経済、産業活動等の代表等、各界各層の代表者から就任いただき、幅広く地域課題の的確な把握や意見を聴くことができるよう、委員を選定いたしました。

平成 17 年 10 月 1 日から鶴岡市、東田川郡藤島町、同郡羽黒町、同郡櫛引町、同郡朝日村及び西田川郡温海町を廃し、その区域をもって新たに鶴岡市を設置することに伴い、市町村の合併の特例に関する法律(昭和 40 年法律第 6 号)第 5 条の 4 第 1 項の規定に基づく地域審議会の設置を、次のとおり(鶴岡市、東田川郡藤島町、同郡羽黒町、同郡櫛引町、同郡朝日村、西田川郡温海町)と協議して定めた。

鶴岡市、東田川郡藤島町、同郡羽黒町、同郡櫛引町、同郡朝日村及び西田川郡温海町の廃置分合に伴う地域審議会の設置に関する協議書

平成 17 年 10 月 1 日から鶴岡市、東田川郡藤島町、同郡羽黒町、同郡櫛引町、同郡朝日村及び西田川郡温海町を廃し、その区域をもって新たに鶴岡市を設置することに伴い、市町村の合併の特例に関する法律(昭和 40 年法律第 6 号。以下「合併特例法」という。)第 5 条の 4 第 1 項の規定に基づく地域審議会の設置について、同条第 2 項の規定により下記のとおり定めるものとする。

記

(設置)

第 1 条 合併特例法第 5 条の 4 第 1 項の規定により、次の各号に掲げる区域を対象にして、当該各号に定める地域審議会(以下「審議会」という。)を置く。

- (1) 合併前の鶴岡市の区域 鶴岡地域審議会
- (2) 合併前の東田川郡藤島町の区域 藤島地域審議会
- (3) 合併前の東田川郡羽黒町の区域 羽黒地域審議会
- (4) 合併前の東田川郡櫛引町の区域 櫛引地域審議会
- (5) 合併前の東田川郡朝日村の区域 朝日地域審議会
- (6) 合併前の西田川郡温海町の区域 温海地域審議会

(設置期間)

第 2 条 審議会の設置期間は、平成 17 年 10 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までとする。

(所掌事務)

第 3 条 審議会は、合併に係る次に掲げる事項について、市長の諮問に応じて審議し、答申するものとする。

- (1) 新市建設計画の変更に関する事項
- (2) 新市建設計画の執行状況に関する事項
- (3) その他市長が必要と認める事項

2 審議会は、必要と認める事項について、市長に意見を述べることができる。

(組織)

第 4 条 審議会は、第 1 条の区域(以下「区域」という。)ごとに委員 20 人以内で組織する。

2 委員は、区域に住所を有する者で次の各号に掲げるもののうちから、市長が任命する。

(1) 公共的団体等を代表する者

(2) 学識経験者

(任期及び失職)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員の再任は、妨げないものとする。

3 委員は、区域に住所を有しなくなったときは、その職を失う。

(会長及び副会長)

第6条 審議会に会長及び副会長1人を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 審議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集する。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議長は、会長が務める。

4 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

5 会議は、必要に応じ、委員以外の者を会議に出席させ、意見を求めることができる。

6 会議は、公開とする。ただし、議長が必要と認めるときは、会議に諮った上公開しないことができる。

(庶務)

第8条 審議会の庶務は、新たに設置される鶴岡市の区域ごとの担当部署において処理する。

(委任)

第9条 この協議に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この協議は、平成17年10月1日から施行する。

平成22年3月31日現在

平成21年度 藤島地域行政等状況報告

1. 行政組織機構の変更について

4月1日より市の組織機構が変わりました。

- 総務部政策調整室に、調整第一課、調整第二課及び政策調査課を設置
- 企画部企画調整課内の情報対策担当を企画部情報企画課として独立設置
- 総合計画の策定完了に伴い、各庁舎の政策企画室を廃止し、総合計画の進行管理の事務は、庁舎総務課で所掌する
- 朝日庁舎の産業課を農林課及び商工観光課に分課

2. 藤島地域災害警戒本部の設置について

北朝鮮飛翔体発射警戒のため、4月3日開催の関係課長会議をうけ、同日各町内会長に対し鶴岡市の対応について文書を配布し、4月4日・5日の対応について庁舎内課長会議を開催し対応を確認しました。

4日（土）、10時21分ころ北朝鮮で飛翔体発射体制に入ったとのテレビ報道を受け、本部で本部員を非常召集し、その連絡を受け、藤島地域でも藤島警戒本部員の非常召集を行いました。また、発射後の広報を行うため総務課職員を招集しました。

11時40分に藤島地域対策本部会議を開催し、現在の状況今後の対応を確認しました。

12時17分に発射報道がありましたが、直後に誤報の報道があり、その後動きがなく、16時40分をもって一時解散とし、明日10時45分をもって地域警戒本部を再開することを確認し、警戒態勢を解除しました。

5日（日）10時45分に藤島地域警戒本部員会議を開催し、対応の確認4日の火災報告等行い、警戒態勢に入りました。

11時30分発射情報が入り、随時情報収集を行い12時25分から各町内会長に対し被害のない旨の電話連絡をおこない、13時10分の地域本部員会議で現在の状況及びこれからの対応について協議し、13時15分から藤島分署の協力を得て車両4台による安全広報を実施。13時15分をもって地域警戒本部を解散し、市民の問い合わせの対応するため17時まで防災班職員が待機し対応する旨確認し警戒態勢を解除しました。

広報は14時30分に終了し、その後市民からの問い合わせはありませんでした。

3. 火災の発生について

4月4日午前（出火時間は不明）に出火した、鶴岡市大半田字宮田地内軌道北側の法面の火災は、軌道敷地内において焚き火を行いその火の拡大により1,265㎡の枯草が燃えました。この火災により 鶴岡市大半田字宮田73番地 浅賀英紀（65歳）氏が遺体で発見されました。死因は焼死であり、消火作業中に着衣に着火し火傷死したものと推定されています。

この火災は藤島地域において平成21年4件目の火災となっています。（平成21年度1件目）

4. 火災の発生について

4月12日、10時00分頃出火した、鶴岡市添川字楯の沢47番地 鈴木琢也氏所有の宅地・畑（鶴岡市添川字楯ノ沢33-2鈴木拓氏管理）の火災は、茅及び伐採した材木に燃え広がり3,469㎡を焼損し11時25分鎮火しました。出火原因は空地でごみを焼却中その場を離れたため拡大したものです。この火災でけが人はいません。

この火災は茅及び伐採した材木が燃えたものであり火災による被害額がでないため、火災件数には含まれません。

5. 町内会長各地区正副会長会議の開催について

4月14日、13時30分から、各地区正副会長会議を開催しました。会議の席上、藤島地域の町内会長会役員選出を行い、会長に成澤正一氏（渡前地区会長、西渡前）、副会長に朝比奈友明氏（藤島地区会長、中町）、石川勘一氏（八栄島地区会長、小中島）、監事に澁谷精一氏（長沼地区会長、宮東）、佐藤一久氏（東栄地区会長、下川尻）を選出しました。各地区副会長は理事となっています。

6. 敬老会の開催について

平成21年度藤島地域敬老会を各地区ごとに4月19日、25日、26日に開催しました。対象者、出席者及び米寿・喜寿該当者の人数は次のとおりです。

単位：人

地区	対象者	出席者	米寿	喜寿
藤島	936	400	31	65
東栄	417	218	11	34
八栄島	199	99	4	14
長沼	260	131	6	23
渡前	360	212	9	22
合計	2,172	1,060	61	158

7. 平成21年春の叙勲について

4月29日、平成21年春の叙勲受章者が発表され、鶴岡市名誉市民で東北大学名誉教授 日向康吉氏（仙台市在住）が教育研究功勞で瑞宝中綬章を、元藤島町教育長 加藤輝信氏（藤島関根）が教育功勞で瑞宝双光章を受章されました。

8. 火災の発生について

4月30日、19時00分頃出火した、鶴岡市大半田地内（赤川右岸河川敷）の火災は、堤防法面700㎡を焼失し19時39分鎮火しました。出火原因はタバコの投げ捨てと推定されています。この火災でのけが人はいません。

この火災は河川堤防法面が燃えたものであり火災による被害額がでないため、火災件数には含まれません。

9. 火災の発生について

5月2日、15時00分頃出火した、鶴岡市添川地内の火災は、竹わら及び茅約4000㎡を焼失し16時44分鎮火しました。出火原因は茅を焼却中、周囲竹わら及び茅に燃え広がったものです。この火災でのけが人はいません。

この火災による被害額がでないため、火災件数には含まれません。

10. 火災の発生について

5月7日、出火した（出火時間不明）鶴岡市大半田地内（赤川右岸河川敷）の火災は、堤防法面1,200㎡を焼失し11時22分鎮火しました。出火原因は不明です。この火災でのけが人はいません。

この火災は河川堤防法面が燃えたものであり火災による被害額がでないため、火災件数には含まれません。（H21.5.18現在 21年4件、21年度1件）

年	火災件数計	建物火災	林野火災	車輛火災	その他火災
平成11年	4件	4件	件	件	件
12	3	3			
13	1	1			
14	6	4		1	1
15	4	4			
16	3	3			
17	3	3			
18	1			1	
19	9	5	1	3	
20	4	4			
21.5.18現在	4	3			1

H21. 1.13 八色木地内（建物）

H21. 3.24 上町地内（建物）

H21. 3.28 新町地内（建物）

H21. 4. 4 大半田地内（その他）

11. 第18回ふじの花まつりの開催について

第18回ふじの花まつりを5月8日（金）から20日（水）まで開催しました。5月8日（金）から10日（日）の3日間は、藤島体育館屋内練習場を会場にふじの花盆栽展を、市民が丹誠込めて育てたふじの花の盆栽129鉢を集め開催しました。ふじの開花に合わせ、日程を当初の計画より1週間ほど早めた結果、露地、盆栽ともにちょうど良い見頃となり、昨年より30鉢ほど多く集めることができました。延べ4,000人の来場者があり、ふじの香りの中、呈茶、俳句大会、ミニ・コンサート、観藤会、藤の花アート体験、藤めぐりウォークラリーなどで楽しんでいただきました。俳句大会には176句の投句がありました。

来場者より多額の協力金をいただき、ふじの花盆栽展への関心の高さを実感するとともに、今後の取り組みの一層の充実発展を図るものであります。

藤島地域外からも多くの来場者があり、広く「ふじの里」づくりや地元産品を印象づけることができました。

また、5月17日（日）には藤島体育館グラウンドゴルフ場を会場にグラウンドゴルフ大会を開催し、224人がクラブ裁きを競い合いました。午後には、ふじの里芸術文化展が開催中の文化記念館において、「前田慶次郎と藤島」と題して鶴岡市鳥居町の細矢昌武氏による歴史講演会を開催しました。53人の聴講者があり、ふじしまの歴史にさらに深みを加える興味深いものとなりました。

12. 仙台市立中野中学校の民泊と体験受入れについて

5月20日から21日まで、仙台市立中野中学校の2年生217名が野外活動の一環として藤島地域を訪れました。（同校は今年で8年連続の訪問となります。）

20日は、鶴岡市須走地内の圃場で田植え体験をした後、藤島地域内の農家や一般家庭で民泊を体験。翌21日は、藁細工、そば打ち、笹巻きづくり、いづめこ人形づくり、絵蠟燭の絵付け、そして今年から始めた生キャラメルづくりなどを体験しました。

13. 横浜市「緑園なえば保育園」と「苗場保育園」の田植え交流会について

横浜市「緑園なえば保育園」と「苗場保育園」の園児と父母、保育士75名が5月23日、24日の日程で来鶴し、両園の給食に採用されている当地域の「人と環境にやさしい農業実践者の会」の農家と田植え交流会を実施しました。

藤島地域での交流会は4年目で、鶴岡市藤島関根地内の圃場15aに「藤島型特別栽培米」のコシヒカリを田植えしました。今年の交流は園児一人に農家が一対一でペアになり、より密度の濃い交流をしています。

14. 有害鳥獣捕獲作業中に発生した事故について

5月24日(日)午前6時25分頃、無音地内でカラス捕獲のため発砲した散弾が民家の網戸を突き破り、女子高校生の右頸部をかすめる事故が発生しました。

幸い軽症で済んだものの、許可条件に違反して人身事故を起こした事実を重く受け止め、5月26日付けでJA庄内たがわへの許可を取り消すとともに、当年度及び次年度から3年間は、有害鳥獣捕獲許可を行わない旨通知しました。

平成19年にも西郷地内で同様の人身事故が発生した経過もあることから、今後の有害鳥獣捕獲許可業務については、安全対策のための諸条件を付け加える等強化を図っていきます。

15. 藤島地域春季消防演習の実施について

5月24日(日)午後1時より鶴岡市藤島体育館駐車場において、鶴岡市藤島地域春季消防演習を実施しました。

この演習は、消防の任務を遂行するため旺盛な消防精神を振起し、消防団員の士気を高め各種訓練を演習し、実力ある消防力を確立するため実施しているものです。

当日は、団員507名、消防署藤島分署員14名、婦人防火クラブ員10名の参加により、規律訓練等の各種訓練を実施しました。

16. 鶴岡市消防団春季消防演習の実施について

5月30日(土)午後1時より鶴岡市小真木原公園多目的広場において、鶴岡市消防団春季消防演習が実施されました。

当日は、団員849名、消防本部消防署95名、車両25台の参加により、各種規律訓練等を実施しました。

藤島方面隊は、方面隊長以下106名、車両2台が参加し、通常点検・人員姿勢、服装の点検を実施し、また梯子まとい振りの演技を披露しました。

17. 市民運動会の開催について

6月7日、第51回市民運動会が約5,000人の参加をえて、各地区ごとに盛大に開催されました。当日は雨の心配がありましたが、幸い朝から曇りで経過し、親睦と交流を深めながら各地区とも予定どおり終了することが出来ました。

18. 空芯菜の植栽について

藤島の中心街に賑わいを取り戻そうと、平成14年度に設立された「藤島中心街まちづくり協議会」では、6月13日(土)午前9時より藤島城址で空芯菜の植栽を行ないました。

空芯菜は水質浄化に効果があるといわれている植物で、協議会の研修で宮城県伊豆沼に視察をした際に発見し、藤島でも取り入れようと始めたもので、今年で5回目。当日は、庄内農業高校で育てた苗を、まちづくり協議会、城址保存会、農業

高校生等約50名が参加し、発砲スチロールを用いた筏16基に1,500本を植え付け水面に浮かべました。

藤島城址は昨年度で拠点整備も完了し、新たな「藤島の顔」として地域の人々に潤いと安らぎの場を与えており、空芯菜の緑も夏の風物詩として定着されてくるなど、まちづくりに大きな役割を与えております。

19. 平成21年度第1回藤島地域審議会の開催について

新市建設計画の変更・執行状況に関する事項等について、市長の諮問に応じて審議する藤島地域審議会を6月18日、藤島庁舎大会議室で開催しました。

今年度第1回目となる審議会では、はじめに委員20人の内、欠席委員を除く新委員3人に辞令の伝達を行い、副会長選出の後、藤島地域の状況、今年度予算・事業の概要、地域コミュニティ活性化の取り組み及び農業農村課題調査の実施について説明を行ないました。

委員からは、各種補助金の縮減状況、各町内会への行政からの情報提供の状況、住宅耐震化に対する補助制度の状況、災害時の非常食の備蓄状況、農作物への有害鳥獣駆除対策の状況、農業振興と生産調整の動向などについて質問があり、現在の状況について説明を行ないました。

20. 明るいまちづくり藤島大会の開催について

6月20日13時30分より鶴岡市藤島公民館において、約200名の参加を得て、「明るいまちづくり藤島大会」が開催されました。大会の冒頭に永年、交通安全活功労のあった3個人1団体、防犯活動に功労のあった2団体の方々に表彰状が手渡されました。大会では、小中学生、高校生及び一般による意見発表や庄内農業高等学校映画演劇部による4つの詐欺をテーマにした劇が公演されました。また、「交通事故と犯罪のない、明るく住みよいまちづくり」の大会宣言が採択されています。

21. 鶴岡市消防団藤島方面隊消防操法大会の実施について

7月12日午後1時より藤島体育館駐車場において、消防操法大会が実施されました。自動車ポンプの部1班、小型ポンプの部18班で行われ、審査の結果、小型ポンプで八色木下区(4-1-2)が優勝し、8月2日開催の山形県消防協会庄内支部主催の消防操法大会に自動車ポンプ東渡前(5-1-1)とともに出場することになりました。

22. 7月18日の大雨警報について

7月18日22時15分、庄内南部に大雨警報が発表され、コミュニティ防災班が警戒体制をとり情報の収集にあたりました。

本所危機管理課で气象台に確認したところ、雨は小康状態で大きな雨は予想されないが、朝日地域で累加雨量が大きく土砂災害が懸念されるため警報を継続しているとのことでありました。

京田川水位は下がってきているため、翌19日1時00分警戒体制を解除し自宅待機としました。

強い雨が断続的に降るため、建設環境課及びコミュニティ防災班による三和地内及び長沼地内の巡視を行いました。また、建設環境課で平成20年度に行った長沼地内の雨水対策工事の検証を行っています。

11時15分鶴岡市に土砂災害警戒情報が発表され、改めて建設環境課及びコミュニティ防災班が警戒体制をとり情報の収集にあたりました。

京田川水位が上がってきているため、11時44分消防第2分団に待機を指示、12時13分に第4分団に長沼地内の巡回を指示しました。

15時25分赤川はん濫注意報が発表されたため、赤川、藤島川及び京田川の巡視と情報収集を行いました。

15時30分赤川の水位は上昇しているが、藤島川、京田川の水位は下がっており大きな雨も予想されないため、消防団の待機を解除しました。なお、引き続きコミュニティ防災班による警戒体制は継続しました。

17時50分土砂災害警戒が解除され、赤川はん濫注意報は継続していましたが、羽黒庁舎で巡視を行うため、藤島庁舎は自宅待機としました。

20時25分大雨警報が注意報に切り替わりました。

20時40分赤川はん濫注意報が解除されました。

この豪雨による被害の報告はありません。

※朝日地域で道路被害、救助事案あり

「参考」

各河川最高水位

京田川水位(三和地内)14:10 2.57m(はん濫注意 2.4m)

藤島川水位(藤島地内)17:00 2.40m(はん濫注意 3.0m)

赤川水位(羽黒橋地内)15:50 3.27m(はん濫注意 3.0m)

23. 市議会議員藤島庁舎地域懇談会の開催について

合併後の藤島地域の状況や課題について理解を深める市議会議員藤島庁舎地域懇談会を7月22日、庁舎3階大会議室で開催しました。懇談会には、委員として市議会の議長、副議長、各常任委員会委員長、各会派代表、藤島選挙区選出議員が出席し、説明員に庁舎管理職、総務部長、政策調整室調整第一課長、議会事務局長、議会事務局次長があたり行われました。

会議の座長は副議長が努め、初めに行政等の状況・地域審議会の開催状況・今年度の主な事業を報告し、その後、意見交換を行いました。

24. 交通死亡事故の発生について

7月30日6時30分頃、鶴岡市新屋敷地内において交通死亡事故が発生しました。フォークリフトで作業中の男性が、前方にいた（出てきたかは不明）幼児（1歳）に気づかず衝突した模様。幼児はフォークリフト左前輪にうつぶせ状態で心肺停止状態になっており救急隊により市立荘内病院に搬送されたが、死亡が確認されました。

死亡事故をうけて31日7時30分から8時まで、藤島地内交差点において街頭指導を実施しました。

藤島地域での交通死亡事故は平成18年11月24日国道345号線渡前地内での死亡事故以来の発生です。

25. 第27回ふじしま夏まつり・第8回庄内伝統芸能祭について

8月2日、第27回ふじしま夏まつりの各種イベントが行われました。

午前中からのこども相撲大会、さかなのつかみ取り、フリーマーケット、ふれあいステージと進めて参りました。ふれあいステージではこりす保育園園児、藤島児童館児童の太鼓、東栄、渡前小学校児童の獅子踊り、出羽三山羽黒太鼓が元気よく演じられました。ここであいにくの雨脚も強くなり、以降の第8回庄内伝統芸能祭、盆踊りについては中止といたしました。これに伴い集客数も、前年の延べ約3,700人に対して、延べ2,000名程度に止まりました。

同時開催の焼肉フェスティバルについても、予定時間を30分繰り上げ、3時30分からの開催と致しましたが、同様に雨により中断となりました。こちらも、前年の約1,000名に対し約600名となりました。

先にお願いをしておりました、ふじしま夏まつりに対する各世帯からの寄付金は458,690円が寄せられました。

26. 消防ポンプ操法庄内支部大会の結果について

8月2日、山形県消防学校(三川町)で行われた消防ポンプ操法庄内支部大会は、自動車ポンプの部、東渡前(5-1-1)、小型ポンプの部、八色木下区(4-1-2)が出場し、自動車ポンプの部出場隊10隊中準優勝、小型ポンプの部出場隊13隊中8位という結果でした。

27. 名寄・藤島少年少女相互交流事業について

8月6日から9日の4日間にわたり、ふじしまジュニアサッカークラブ9名と指導者等3名が名寄市を訪問し、名寄ピヤシリサッカー少年団団員13名・指導者等7名と交流しました。

28. 藤島地域成人式の挙行について

8月12日(水)藤島公民館大ホールにおいて平成21年度鶴岡市藤島地域成人式を挙行了しました。今年度の成人者は、155名(男75名・女80名)で参加者は121名でした。主催者として市長、教育長、武山育教育委員、河野重樹選挙管理委員が参列しました。また、来賓者として阿部昇司県議会議員、神尾幸市議会議長をはじめ28名のご出席をいただきました。

成人者を代表して萬年元気さんが力強く「誓いのことば」を述べ閉会しました。式典終了後、記念写真撮影及び「成人のつどい」が行われました。

29. 鶴岡市藤島地域総合防災訓練について

9月5日午後1時45分より藤島芝生広場を主会場に鶴岡市藤島地域総合防災訓練が行われました。今年は特別養護老人ホーム「藤の花荘」入所者やデイサービス利用者、グループホーム及びこりす保育園の災害時避難協力体制の検証をおこないました。災害時に災害時弱者といわれる各施設利用者をいかに早くかつ安全に避難誘導が行えるかを、地元藤の花町内会及び消防団の協力のもと行ったものです。

また、藤島地区自主防災会(消防第2分団管轄9自主防災会)、婦人防火クラブ、山形県消防防災航空隊及び消防団藤島方面隊等約660名の参加により避難訓練をはじめ上空からの被災状況調査、心肺蘇生・応急手当訓練、防災ヘリによる救助救出訓練、自主防災会による初期消火訓練等13項目の訓練を行いました。

30. 子育てフォーラムの開催について

9月6日(日)、第10回ふじしま子育てフォーラム「ふるさとの「食」で育てる心と体」～子どもの成長期に大切なこと～が藤島公民館で130名が参加し、開催されました。パイオニア・レッドウイングス 栄養トレーナー 山口喜代美氏及びアル・ケッチャーノ オーナーシェフ 奥田政行氏の講演に引き続き、パネルディスカッションが行われ、食事の大切さや庄内の食材の豊富さ、新鮮な食材に合わせた料理法等について話し合いが行われました。

31. 鶴岡市朝日地域七五三地区地すべり災害義援金の贈呈について

今年2月下旬から兆候が見られた朝日地域七五三掛地区の地すべり災害に対し、朝日地域駐在員連絡協議会(会長 佐藤正氏)から各地域自治組織連合会あて義援金の協力要請があり、藤島町内会長連絡協議会でも7月11日各町内会長に対し協力をお願いしました。

9月14日、各地域自治組織代表者から日本赤十字社山形県支部鶴岡市地区(地区長 鶴岡市長)に対し、義援金総額11,138,627円(藤島地域537,590円)の目録が贈呈されました。この義援金は、市を經由し被災者へ贈られます。

32. 高齢者交通死亡事故警報の発令について

9月9日から9月15日の間に、県内において高齢者が関係する交通死亡事故が3件発生したため、9月16日から22日までの7日間、高齢者交通死亡事故警報が山形県危機管理監から発令されました。

藤島地域では交通安全推進協議会委員に対し、各団体における広報啓発活動の推進をお願いしております。

また、警報発令中の9月19日に庄内町の県道で、高齢者の死亡事故が発生したため、警報発令期間が23日から29日まで7日間延長されています。

日時	場所	事故概要
9/9 5:57	米沢市 国道	普通乗用車(50歳男性：運転)が、横断中の歩行者(96歳男性：死亡)と衝突
9/14 4:35	鶴岡市下清水 国道	中型貨物自動車(36歳男性：運転)が、前方不注意により歩行者(94歳女性：死亡)と衝突
9/15 18:49	酒田市 県道	軽乗用車(43歳女性：運転)が、横断中の歩行者(80歳女性：死亡)と衝突
9/19 14:45	庄内町 県道	軽乗用車(51歳女性：運転)が、前方不注意により、道路右側を対向してきた自転車(73歳男性：死亡)と衝突

33. 平成21年度鶴岡市市制施行記念式典・祝賀会の開催について

10月1日、平成21年度鶴岡市制施行記念式典・祝賀会が午後4時00分から東京第一ホテル鶴岡で、関係者230名の出席のもと開催されました。

祝賀会では、六所神社の獅子舞が上演されました。

34. 東京藤島会総会・交流会の開催について

10月4日(日)、東京都荒川区東日暮里ホテルラングウッドにおいて会員等69人、来賓15人、市関係11人の出席により東京藤島会の平成21年度総会・交流会が開催されました。

35. 台風18号に対する対応について

10月7日、大型の台風18号の接近に伴い市では、15時00分に「鶴岡市災害警戒本部」を設置し対応にあたり、あわせて藤島地域に「藤島地域災害警戒本部」を設置し警戒態勢をとりました。

地域災害警戒本部では、公共施設の安全点検及び対応を指示、町内会長に対して警戒文書の配布を行い、また、暴風警報発表後はコミュニティ防災班が待機し情報収集を行いました。

藤島地域では、選挙ポスター掲示板の一時撤去、8日の藤島地域各小中学校が一斉下校(集団下校)の対応がとられました。

各地に被害をもたらした台風18号でしたが、庄内地方には大きな被害を残さず太平洋上へ抜けましたが、温海地域で台風通過後の吹き返しによる建物被害がありました。

9日4時30分に暴風警報が注意報に切り替わったため、庁舎待機を自宅待機に切り替えました。

8時40分に地域災害警戒本部会議を開催、各施設被害調査、各町内会長から聞き取りによる被害情報の収集を行い、9時00分、藤島地域災害警戒本部を解散しました。

この台風による被害情報はありません。

36. 火災の発生について

10月10日、18時30分頃出火した、鶴岡市添川字楯ノ沢124番地 小杉竹良宅 の建物火災は、木造2階建瓦葺住宅、延べ277㎡のうち1階台所の天井約3.3㎡を焼損し、住人が消火器具を使用し消火しました。18時47分に119番通報があり消防隊が警戒出動し、焼失状況、残火状況が確認が行われ19時15分鎮火となりました。出火原因は天ぷら油のかけ忘れによるものです。

この火災によるけが人はありません。

年	火災件数計	建物火災	林野火災	車輛火災	その他火災
平成11年	4件	4件	件	件	件
12	3	3			
13	1	1			
14	6	4		1	1
15	4	4			
16	3	3			
17	3	3			
18	1			1	
19	9	5	1	3	
20	4	4			
21.10.14 現在	5	4			1

H21. 1.13 八色木地内（建物）

H21. 3.24 上町地内（建物）

H21. 3.28 新町地内（建物）

H21. 4. 4 大半田地内（その他）

H21.10.10 添川三区地内（建物）

37. 市長・市議会議員選挙の執行について

10月11日、鶴岡市長選挙及び鶴岡市議会議員選挙が行われ、新市長に榎本政規氏が当選されました。（市議会議員：省略）投票率は73.85%で、任期はともに、今年10月23日から平成25年10月22日までの4年間です。

38. 鶴岡市消防小型ポンプの引渡しについて

10月31日午後1時30分より鶴岡市小真木原総合体育館前において、鶴岡市消防団消防ポンプ引渡式を行いました。

今年度は鶴岡市全体で、普通積載車3台、軽積載車3台、小型ポンプ10台を配備しました。うち藤島方面隊（藤島地域）では小型ポンプ5台を、第3分団第1部第5班（千原）、第3分団第2部第1班（東堀越一区）、第3分団第3部第1班（下蛸井）、第3分団第3部第2班（平足・上川尻）、第5分団第2部第2班（箕升新田）に配備しました。

39. お米の里の収穫祭（ふじしま秋まつり）の開催について

今年もふじしま秋まつりは、「お米の里の収穫祭」と名づけ、農村文化展、JA秋まつり、食の祭典 in 藤島、第20回日本薬文化大祭に加え、県の食育フェア、スローフードフェアも同時開催とし、藤島の「食と農」の情報発信を目的に、10月31日、11月1日の2日間、藤島体育館を会場に行いました。

10月31日は「子ども秋まつり」として、親子「特性コブサラダ」づくり、新米おにぎり体験、食育絵本の読み聞かせなど子どもが楽しめるイベントを用意いたしました。

11月1日は「食と農の秋まつり」として、食育劇「あいがも日記」、地産地消料理のごっつおコンテスト、食の都料理ショー&シェフのおすそわけなど多彩なイベントを行いました。

また、両日をとおして、薬細工体験、お米の脱穀体験、農村写真展など、庄内平野の中心にふさわしい内容の体験や展示も行いました。

米粉を紹介するため企画したKOMOKO(米粉)カフェ、地場産の里芋の芋煮と「つや姫」おにぎりも大変好評を得、藤島産の「食」をたくさん提供することができました。

両日合わせて約3,100名の来場者があり、ふじしまの食と農のすばらしさをPRすることができました。

40. 平成21年秋の叙勲について

11月3日、平成21年秋の叙勲受章者が発表され、元庄内経済農業協同組合連合会代表理事会長の大久保鉄夫氏（宮東）が農業振興功勞で、旭日小綬章を受章されました。大久保氏は、昭和59年に旧藤島町農協組合長に就任し、平成7年から平成17年までは庄内たがわ農協組合長を務められ、この間、平成5年6月から平成13年3月まで、庄内経済連会長を務められました。

41. 副市長の就任について

11月6日の市議会11月臨時会で同意され、11月9日付で、副市長に前鶴岡市農林水産部長の山本益生氏（馬町・60歳）が就任しました。

42. ふじしま文化フェスティバルの開催について

10月24日(土)藤島公民館において、女性講師の田辺鶴瑛氏を招き「鶴瑛の修羅場介護日記」と題し文化講演会を開催、約260人が入場しました。

また、10月24日(土)から26日(月)まで、藤島公民館を主会場に、第38回藤島芸術文化祭を開催し、生花・絵画等の展示、囲碁大会、合同茶会、芸能発表会には約600人の入場者がありました。

11月7日(土)の第20回ふじしま音楽祭には、幼稚園児から一般まで16団体約500人が出演し、芸術の秋・音楽の秋を満喫しました。

43. 藤島地域保健推進委員会の設立について

11月24日、地域における自主的な健康増進活動の推進を図ることを目的とする藤島地域保健推進委員会の設立総会が開催されました。

総会では、4月に市長より依頼状の交付を受けた保健推進員により、会則・事業計画・予算・役員が決定され、各推進員が相互に協力し、健康で明るい地域づくりに努めることを確認し合いました。

44. 「愛の鳩賞」受賞について

財団法人 山新放送愛の事業団による「愛の鳩賞」の贈呈式が12月14日、山形メディアタワー(山形市旅籠町)で行なわれ、藤島地域青少年ボランティアサークル「Ben 'S」(ベンズ)が受賞されました。

愛の鳩賞は、福祉を真剣に見つめ、困難な情勢の中でボランティア活動や福祉活動を地道に続けて成果を挙げ、地域に愛の輪を拡げつつある個人・グループ・団体に対し、昭和55年から毎年3団体等に贈られてきたものです。

Ben 'Sは、平成9年7月より、旧藤島町の青少年海外派遣事業に参加した高校生を中心として活動をはじめ、現在、登録人数は中高生合わせて77名おり、年間を通じて藤島地域のイベント・行事のスタッフとして活動するほか、自主企画として夏まつりの出店や幼児施設の訪問などを行なっています。

地域との関わりが希薄な世代である中高生が、地域内を中心とした活動で、地元を大切にしたいという想いでボランティア活動を行っており、その活動は他の青少年の模範となり、地域住民からも認められ、今後の活躍の期待も込めて、今回の受賞となりました。

45. 鶴岡市藤島地域現地豪雪対策本部の設置について

12月17日10時00分に市役所本所の積雪観測地点が70cmを超え道路事情が悪化し、さらに引き続き降雪が多量に見込まれる警報が発せられたため、鶴岡市豪雪対策本部が設置されました。また藤島地域においても積雪により市民生活に著しく障害の発生が予想されるため、藤島地域現地豪雪対策本部を同10時00分に設置しました。13時00分から本部員会議を開催し、現在の状況を確認し今後

の対応を協議しました。

翌18日午後から藤島地域各町内会長に対し、文書により雪による危険箇所点検と雪害予防チラシの全戸配布をお願いしました。

46. 藤島地域新年祝賀会の開催について

1月5日、鶴岡市藤島地域新年祝賀会を藤島公民館で開催し、市民憲章唱和に続き、市長・市議会議長賀詞のあと、むらさき会（5名）による祝舞が披露されました。本祝賀会には、地域内官公庁団体・市民・企業関係者145名が出席されました。

47. 交通栄誉章「緑十字銀章」の授章について

1月19日、第50回交通安全国民運動全国大会の席上、永年にわたる交通事故防止活動に積極的に取り組んできた功績が認められ、警察庁長官並びに財団法人全日本交通安全協会長の連名で佐藤幸弥氏（鶴岡市長沼字十文字22 71歳）に対し交通栄誉章「緑十字銀章」が贈られました。

48. 藤島地域無火災安全祈願祭、消防出初式の実施について

1月24日、藤島公民館前において鶴岡市藤島地域消防出初式を実施しました。当日は、団員194名、婦人防火クラブ10名、議会議長ほか来賓14名、副市長以下職員12名、消防長以下藤島分署員15名の参加により、祝賀放水・梯子乗り・纏振りなどの記念行事を行いました。また、これに先立ち、藤島公民館において無火災・安全祈願祭を行いました。

49. 藤島城址雪灯籠まつりの開催について

2月11日（建国記念の日）藤島城址、藤島ふれあいセンター周辺を会場に、2回目となる藤島城址雪灯籠まつりを藤島城址保存会、藤島元町町内会（上町、新町、中町、下町、駅前、藤の花）、出羽商工会、藤島商工業協同組合、庄内農業高等学校、藤島ライオンズクラブなどの協力で今年も開催いたしました。

2月7日（日）の雪灯籠を削り出す元となる雪の固まり（トーフ）づくりにも、60人ほどが参加して20基を準備し、まつり当日に備えました。

まつり当日は天気にも恵まれ、よく締まったトーフから、思い思いに雪灯籠を削り出し、当日、参加した児童たちが天ぷら油を使って作ったエコキャンドルを灯しました。

雪灯籠の灯りを見ながら、杵つき餅や雪見酒のふるまい、藁神楽の披露もおこなわれ、200人以上の参加で心温まるまつりとなりました。

2月18日まで（夜8時まで）灯りを灯して幽玄な風情を醸し、楽しんでいただきました。

50. 庄内農業高校「東北・水すまし賞」受賞について

2月25日に庄内農業高校生物環境課の3年生10名が、日本水環境学会東北支部が水環境の創造と保全に関する優れた教育、研究活動に取り組んでいる個人や学校を顕彰する「東北・水すまし賞」を受賞しました。

同校が、藤島城址内堀の水質改善のため、水質浄化に効果があるとされる、中国野菜の空芯菜を栽培し、藤島中心街まちづくり協議会や地域の方々と共に堀に空芯菜のいかだを設置して効果を調べていることが評価されました。

51. 「つや姫誕生のまち活性化の会」設立について

3月3日、四季の里「楽々」において「つや姫誕生のまち活性化の会」の設立総会が開催されました。この会は、藤島地域の有志が立ち上げたもので、総会においては、発起人代表の太田榮市氏が会長に選出されました。平成22年度の事業としては、「つや姫誕生のまち」広告塔の設置、飲食店等での「つや姫」を使用したメニューの提供、国道345号線の藤島地域管内区間を愛称として「つや姫ロード」と命名する事業などを予定しています。

つや姫誕生のまち活性化の会（通称「つや姫会」）は、期待の新品種「つや姫」の誕生を絶好のチャンスとして捉え、藤島地域の活性化につなげたいと結成されたものであります。会では趣旨に賛同していただける方を会員として募集しています。

52. 3月14日の地震について

3月14日17時08分頃、福島県沖を震源とした地震が発生しました。藤島庁舎では震度3(計測震度2.5)を記録したため、警戒体制をとり被害情報の収集を行いました。

消防本部、警察等にも被害情報が入っていないため、18時10分警戒体制を解除し自宅待機としました。この地震による被害の報告はありません。

なお、3月13日21時46分頃にも、福島県沖を震源とした地震が発生しています。

庄内地方の速報が震度3のため、一時警戒体制をとりましたが、藤島庁舎では震度2(計測震度2.3)のため警戒を解除しました。この地震による被害情報はありません。

53. 火災の発生について

3月15日17時00分頃に出火した、鶴岡市豊栄字突上地内（藤島川右岸河川敷、平形橋下流約500m地点）の法面の火災は、雪囲いに使用した縄を焼却し、その場を離れた後、風に煽られて近くに積まれていた杉枝及び茅に延焼、周囲に燃え広がったもので、付近を通りかかった人が119番通報し、消防隊が出動したものです。

この火災で法面約150㎡(L=30m、W=5m)を焼損し18時18分鎮火しま

した。この火災でのけが人はありません。

なお、平成22年から火災に関する件数認定方法が変更になり、従前火災件数に数えられなかった火災についても、消防隊が消火活動を行うことにより火災件数に入ることになります。よって、今回の火災が平成22年藤島地域1件目の火災になります。(3月16日現在鶴岡市火災発生件数10件)

平成22年度 藤島地域行政等状況報告

1. 行政組織機構の変更について

4月1日より市の組織機構が変わりました。

- 総務部政策調整室を廃止し、行財政システムの効率化等に関する業務を担当する調整課を新設
- 企画部に高等教育機関の充実、バイオ研究・産業の集積等に関する業務を担当する政策推進課と過疎対策、地域審議会等に関する業務を担当する地域振興課地域活性化推進室を新設
- 農林水産部農政課に農業振興整備計画(農地法に基づく計画)の策定、農地法・農業者年金等に関する業務を担当する農地係(兼務 農業委員会事務局鶴岡分室)と農業振興計画(実施計画)の策定、農業農村基本調査等に関する業務を担当する農政課農政企画室を新設
- 健康福祉部社会児童課を子育て推進課に名称を変更し、子ども手当、児童扶養手当、母子福祉等に関する業務を担当する育成係(※旧軍人等、日本赤十字、災害援護に関する業務は福祉課に移行)と保育園・児童館、学童保育所等に関する業務を担当する保育係の2係とし、また家庭児童相談、発達障害児支援、要保護児童対策等に関する業務を担当する子育て推進課子ども家庭支援センターを総合保健福祉センターに開設

2. 敬老会の開催について

平成22年度藤島地域敬老会を各地区ごとに4月18日、25日、5月2日に開催しました。今年度より市の委託事業から補助事業に変更したことに伴い主催も市から地区実行委員会へとなりましたが、スムーズに開催されました。

また、市最高齢者108歳の秋葉定恵様も出席され和やかに歓談しました。

対象者、出席者及び米寿・喜寿該当者の人数は次のとおりです。

地区(開催日)	対象者(人)	出席者(人)	米寿(人)	喜寿(人)
藤島(5/2)	966	410	39	52
東栄(4/25)	436	235	17	27
八栄島(4/25)	198	91	7	7
長沼(4/18)	268	130	14	14
渡前(4/25)	349	190	9	25
合計	2,217	1,056	86	125

3. 第19回ふじの花まつりを開催

第19回ふじの花まつりを5月7日（金）から9日（日）まで開催しました。

藤島体育館屋内練習場メイン会場にふじの花盆栽展を、市民が丹誠込めて育てたふじの花の盆栽110鉢を集め開催しました。

桜の開花も1週間から10日ほど遅れている中、集められたふじの盆栽もつぼみの状態でしたが、最終日には半数以上が開花し、ふじのあまい香りの中、呈茶、俳句大会、ミニ・コンサート、観藤会、藤の花アート体験、働く車試乗、藤見の宴など多彩なイベントで楽しんでいただきました。

3日間で延べ3,400人の来場者があり、俳句大会にも150句の投句がありました。

グラウンドゴルフ大会では、217人がクラブ裁きを競い合い、今年から開催したふじの花ウォークでは100名が藤島地内の名所めぐりに汗を流しました。

駐車場には県外ナンバーの車も多く見受けられ、藤島地域外からも多くの来場者があり、物産販売も好調で、広く「ふじの里」づくりや地元産品を印象づけることが出来ました。

最終日に盆栽展会場で行った藤見の宴では、80人ほどが音楽と美味しいお酒をたのしみ、来年のふじの花まつりに夢を咲かせました。

来場者より多額の協力金をいただき、ふじの花盆栽展への関心の高さを実感するとともに、今後の取り組みの一層の充実発展を図りたいものであります。

4. 仙台市立中野中学校の民泊と体験受け入れについて

5月19日から20日まで、仙台市立中野中学校2年生227名が野外活動の一環として藤島地域を訪れました。同校は今年で9年目の訪問で、19日は、鶴岡市須走地内の圃場で田植え体験をした後、藤島地域を中心とした農家や一般家庭で民泊を体験。翌20日は8班に分かれて、各種体験学習（笹巻づくり、藁工芸、そば打ち、米粉ピザづくり、陶芸、いづめこ人形づくり、絵ろうそく、郷土料理）を行いました。

5. 藤島地域春季消防演習の実施について

5月23日（日）午後1時より鶴岡市藤島体育館駐車場において、鶴岡市消防団藤島方面隊春季消防演習を実施しました。

この訓練は、消防の任務を遂行するため旺盛な消防精神を振起し、消防団員の士気を高め各種訓練を実施することにより実力ある消防力を確立するとともに、消防団の日々の活動や訓練の成果を市民に対して広くPRするため実施したものです。

当日は、藤島方面隊団員505名、本部女性消防隊4名、消防署藤島分署員14名の参加により、規律訓練等の各種訓練を実施しました。

6. 鶴岡市消防団春季消防演習の実施について

5月29日（土）午後1時より鶴岡市小真木原公園多目的広場において、鶴岡市消

防団春季消防演習が実施されました。

当日は、団員990名、消防本部消防署95名、車両25台の参加により、各種規律訓練等を実施しました。

藤島方面隊は、方面隊長以下109名、車両2台が参加し、小隊訓練を実施し、また梯子のりまとい振りの演技を披露しました。

7. 市民運動会の開催について

6月6日(日)藤島地域市民運動会が約5,000人の参加のもと各地区毎に盛大に開催されました。絶好の運動会日和に恵まれ、親睦と交流を深めながら各地区とも予定通り終了することができました。

8. 空芯菜の植栽について

藤島の中心街に賑わいを取り戻そうと、平成14年度に設立された「藤島中心街まちづくり協議会」では、6月19日(土)午前9時より藤島城址で空芯菜の植栽を行ないました。

空芯菜は水質浄化に効果があるといわれている植物で、協議会の研修で宮城県伊豆沼に視察をした際に発見し、藤島でも取り入れようと始めたもので、今年で6回目。当日は、庄内農業高校で育てた苗を、まちづくり協議会、城址保存会、農業高校生等約50名が参加し、発砲スチロールを用いた筏16基に1,500本を植え付け水面に浮かべました。

藤島城址は拠点整備も完了し、新たな「藤島の顔」として地域の人々に潤いと安らぎの場を与えており、空芯菜の緑も夏の風物詩として定着されてくるなど、まちづくりに大きな役割を与えております。

地域振興関連事業

資料6

地域	地域活性化推進事業	地域課題調査	コミュニティ調査	農業農村調査
藤島	<ul style="list-style-type: none"> ■地域振興ビジョン調査研究 (庄内農業の道構想事業) ■ふじの里藤島の魅力アップ事業 ■藤島鶴岡エコ型特別栽培米販路拡大調査 ・首都圏の学校給食の実態調査 	<ul style="list-style-type: none"> ●地区座談会の開催 ●自主防災組織等防災関係団体実態調査 	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校区等広域コミュニティ実態調査 	<ul style="list-style-type: none"> ●水稲乾田V溝直播特別栽培実証事業 ●つや姫の里推進事業 ●濃厚飼料自給新技術導入支援事業
羽黒	<ul style="list-style-type: none"> ■出羽三山・修験の里地域づくり事業 ◇門前町街並景観の保全・創造事業 ・歴史的風致維持向上計画作成 ◇出羽三山魅力発信協議会の補助 ◇松ヶ岡活性化事業 ■映画ロケ支援事業 ◇映画を活用した観光宣伝の強化による魅力発信・経済活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ●観光客受入れ体制調査事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校区コミュニティ広域調査 	<ul style="list-style-type: none"> ●月山麓畑作団地実態調査事業
楡引	<ul style="list-style-type: none"> ■地域振興ビジョン調査研究 (歴史・文化の里整備事業) ■『森田茂画伯が描いた黒川能の世界』開催 ◇森田茂画伯寄贈の黒川能の油絵、デッサンの特別展の開催 ■黒川能後継者育成事業(小中学生) ◇囃子方の指導育成、練習用DVD制作 ■グリーンツー農産物等販路拡大支援事業 ◇都市との交流事業を農産物の販売促進に発展させる取組み 	<ul style="list-style-type: none"> ●未婚化実態調査検討事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●住民自治組織課題調査・検討事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●農業と観光を活かした地域産業振興事業
朝日	<ul style="list-style-type: none"> ■市民の森・市民の溪谷振興プロジェクト ◇朝日グリーンアドベンチャー事業補助金 ■高齢者ふれあい・交流共同生活住宅整備事業 ◇「高齢者共同生活住宅」整備の検討 ■森の産直カー自立支援事業 ◇森の産直カー朝日号自立支援事業補助金 ■農作物被害防止対策事業 ◇電気柵等の防止器具購入補助 	<ul style="list-style-type: none"> ●支えあう地域防災力調査研究事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域資源再発見調査研究事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●潜在的資源活用加工施設調査 ●新エネルギー導入実験事業
温海	<ul style="list-style-type: none"> ■地域振興ビジョン調査研究 (温海温泉の振興、海・水産業を活かした地域活性化など) ■あつみ温泉活性化事業 ◇温泉街を流れる温海川に舞台を仮設してのイベント開催。 ■森の産直カー自立支援事業 ◇森の産直カー温海号自立支援事業補助 	<ul style="list-style-type: none"> ●あつみ温泉実態調査 ●未利用ハウス、後継者等調査検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●温海庁舎懇談会開催 	<ul style="list-style-type: none"> ●地産・地消の拡大事業(朝市)

<p>事業名： 藤島地域の課題の把握、調査・検討事業</p>	<p>担当課： 総務課 新規</p>
<p>事業の概要</p> <p>① 藤島地域の課題を把握・調査するため、各地区単位で地区座談会を開催する。(計5回) 実施時期：7～8月及び10～12月</p> <p>② 小規模集落における地域防災のあり方を検証するため、長沼地区を対象に自主防災組織等防災関係団体の実態調査を行う。 実施時期：7～9月</p>	
<p>事業の目的</p> <p>現在、集落単位でコミュニティ実態調査を実施しているが、町内会役員を中心とした聞き取り調査が主であり、広く地域課題や考えていることなど意見を把握するため、地区単位で地区座談会を開催する。また、小規模集落が多い地域における地域防災のあり方を検証するため、1地区をモデル地区とし、自主防災会、消防団、町内会や育成会等の実態を調査し、複数町内会による組織形成、運営の可能性を検証する。</p>	
<p>期待する効果</p> <p>地区座談会</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区座談会を開催することにより、町内会を越えた地区の課題、地区で考えている事項等が把握できる。 地区で実施している独自事業や事例等を把握し、他地区に紹介できる。 <p>地域防災実態調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 小規模集落での防災に対する実態を調査し、課題を整理することにより防災体制の整備や複数町内会による組織形成、運営の可能性を検証する。 	

<p>事業名： 小学校区等広域コミュニティ実態調査事業</p>	<p>担当課： 総務課 新規</p>
<p>事業の概要</p> <p>東栄地区を対象として、対象地区の町内会長、地区公民館等利用者、地区単位の団体関係者を対象にワークショップ形式で聞き取り調査、話し合いを開催する。(7月から数回程度実施予定) 外部の視点を取り入れるとともに事務負担軽減のため、東北圏地域づくりコンソーシアム推進協議会への指導助言を委託業務として依頼する。</p>	
<p>事業の目的</p> <p>町内会の戸数が減少することにより町内会活動の停滞が懸念され、必要な活動を維持するには、小学校区や隣接する町内会同士など複数の町内会が共同して活動することも選択肢の一つとしてあげられる。</p> <p>このため、現在行っているコミュニティ実態調査と平行して、広域的なコミュニティ活動の状況と今後のあり方を検討する基礎資料とするため、実態調査を実施する。</p>	
<p>期待する効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内会が抱えている課題を抽出し整理することにより、複数町内会での共同活動の検証が行える。 	

事業名： 藤島地域農業活性化対策事業	担当課： 産業課
	新規

事業の概要

低コスト稲作の新技术として期待がかかる乾田V溝直播の発展的普及、本格デビューを控える「つや姫」生誕の地の啓蒙、畜産における濃厚飼料の自給新技术導入の支援等、藤島地域の農業活性化策を講ずる。

(具体的な事業内容)

1. 水稻乾田V溝直播特別栽培実証事業

平成21年度に本地域で初めて取り組んだ乾田V溝直播について、良好な取り組み結果が功を奏して平成22年産の作付け者が大幅に増加、5名4.5haが41名65.6haになっている。しかし、既成の肥培管理マニュアルでは特別栽培が困難な慣行栽培限定体系となっており、コスト削減を除いては時代の流れに乗れない一面を持つ。

こうしたことから、既成の農業体系・施肥体系に工夫を施し、特別栽培に対応できる体系による栽培にチャレンジすべく、試験圃を設置しての実証実験などを藤島地域農業振興対策本部への委託事業として実施する。

2. つや姫の里推進事業

かつて「はえぬき」「どまんな」の本地域での誕生を機に国道345号沿いに二つの新品種誕生の地PR塔を設置、その後広告塔の高さ規制からコンパクトになり、作付け流通の減少から「どまんなか」を消去した両面「はえぬき」の誕生の地PR塔になって現在に至っている。こうしたなか、「はえぬき」に取って代わる期待の新品種「つや姫」が生誕し、昨年プレデビュー、本年がデビュー年となっている。コシヒカリをしのぐ良食味米として「つや姫」には県内の稲作農家から大きな期待が寄せられており、県産米のホープとなることは疑いがない。

本県の「顔」となるであろう「つや姫」の本格デビュー一年にあって、本年3月に設立された「つや姫誕生のまち活性化の会」による、つや姫の普及宣伝と誕生のまち藤島のPR活動に補助金として市も支援していく。

3. 濃厚飼料自給新技术導入支援事業

稲ソフトグレインサイレージ(以下「稲SGS」という。)は、収穫した籾を乾燥著製なしにそのまま発酵飼料にする技術で、平成21年度に真室川町内で実践されている。水稻用コンバインによる収穫が可能であるため専用収穫機など新たな設備投資が不要であり、耕種農家が比較的容易に取り組めるものである。

収穫した籾は、発酵環境を整えるためプレスパンダーに投入して破碎処理し、フレコンバッグに詰めて調製する。これまで自給飼料と言えば粗飼料の生産が主体であったが、この方法を用いることで栄養価の高い濃厚飼料を生産することが可能となる。

飼料高騰と景気低迷による消費の伸び悩みを受け、畜産環境は非常に厳しい状況にある。本地域の中部肉用牛生産組合が取り組む稲SGS事業に、技術導入に係る経費の一部を補助する。

事業の目的

1. 水稲乾田V溝直播特別栽培実証事業

慣行栽培体系である既存技術に改良を施し、化学合成肥料・化学合成農薬をそれぞれ5割以上削減する特別栽培を体系化することで、消費者が求める安全安心な良食味米の生産に資する。

2. つや姫の里推進事業

今秋に本格デビューする山形県期待の水稲新品種「つや姫」生誕の地のPRを図る。

3. 濃厚飼料自給新技術導入支援事業

濃厚飼料の自給技術の確立により、稲わらやホールクロップサイレージといった自給粗飼料の給与と合わせ、国産飼料給与割合が高まるとともに、「米そだち牛」といったブランド販売が期待される。

期待する効果

- ・低コスト稲作と安全安心農産物生産の融合による、生産意欲の向上
- ・既存の乾田V溝直播生産体系から本地域独自の特別栽培体系の確立
- ・「つや姫」の知名度の普及と販売促進「つや姫誕生の地」PR
- ・濃厚飼料自給新技術の獲得による国産飼料給与割合の向上
- ・「米」を一定割合で給与することによる、ブランド販売戦略